

小規模事業者 景気動向調査報告書

(令和7年7～9月期)

延岡商工会議所／中小企業相談所

延岡市幸町3丁目101 延岡駅西口街区ビル3階

TEL 0982(33)6666

FAX 0982(33)6682

I. 実施概要

1. 調査対象事業所数	125 事業所
2. 回答事業所数	66 事業所
3. 回答率	52.8%
4. 業種別内訳	
製造業	12 事業所
建設業	8 事業所
卸売業	3 事業所
小売業	22 事業所
サービス業	21 事業所
合計	66 事業所

5. 実施時期

令和7年 10月上旬～11月上旬

6. 調査対象期間

令和7年 7月から9月（第2四半期）

7. 調査内容

調査対象期間である第1四半期について前年同期比、前期比、来期見通しの売上（受注）状況、採算（経常利益）、資金繰り、材料仕入価格、雇用（労働力）状況、設備投資計画、業況の各項目についての状況。

（D I 値の集計）

※ D I 値（景況判断指数）について

D I 値は、売上、採算、資金繰り、仕入価格、雇用状況、設備投資、業況の各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気、弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

D I = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

売 上 : (増加) - (減少)
採 算 : (好転) - (悪化)
資金繰り : (好転) - (悪化)
仕入価格 : (低下) - (上昇)
従 業 員 : (不足) - (過剰)
設備投資 : (拡大) - (縮小)
業 況 : (好転) - (悪化)

8. 調査方法

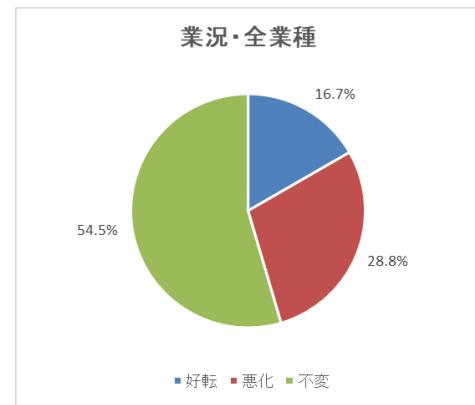
調査対象事業所に対して、調査票を郵送しファクシミリ及び電子メール等で回収、当所にて集計、分析を行う。

II. 概況

1. 全業種の業況

全業種の業況判断として、前年同期比（令和6年4月～6月）のDI値は▲12.1ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は16.7%、悪化したと回答した事業所が28.8%、変わらないと回答した事業所は54.5%だった。



令和6年7～9月の前年同期比について、売上横ばいの回答もみられるが、変わらず仕入価格の高騰が課題となっており、価格転嫁が行えず、採算や資金繰りの面が悪化しているという声がほとんどを占めている。

	R6.7～9 前年同期比	R7.4～6 前期比	R7.10～12 見通し
全業種	▲12.1	▲19.7	▲10.6
製造業	▲8.3	▲8.3	0.0
建設業	12.5	0.0	37.5
卸売業	0.0	▲33.3	▲66.7
小売業	▲31.8	▲27.3	▲22.7
サービス業	▲4.8	▲23.8	▲14.3

来期見通し(令和7年10～12月)のDI値については、▲10.6ポイント。

ほとんどの業種、悪化の見込み。建設業は、好転の見込み。製造業は、横ばいの見込み。

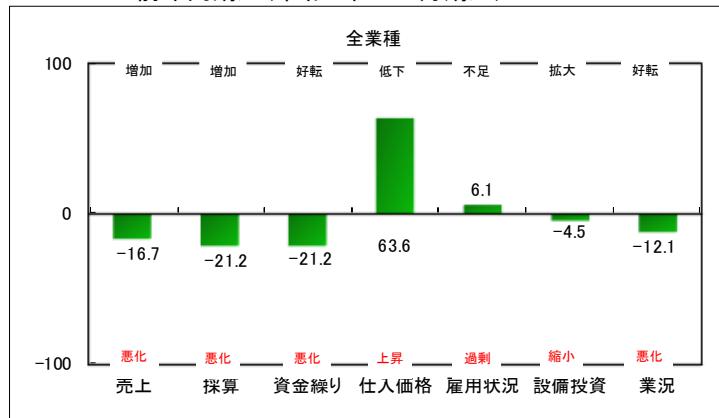
各業種で、仕入価格の上昇・人手不足が変わらず不安要素として挙がっている。前期調査より、DI値が低下しており、資金繰りに不安を抱えている声が多くみられた。

建設業は、公共事業の受注増や設備投資増に伴う案件受注などにより、好転を見込む回答が多かった。

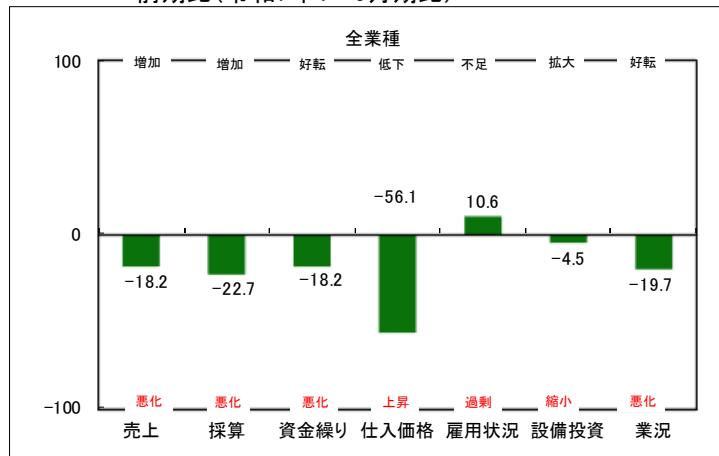
市内景気動向

全業種

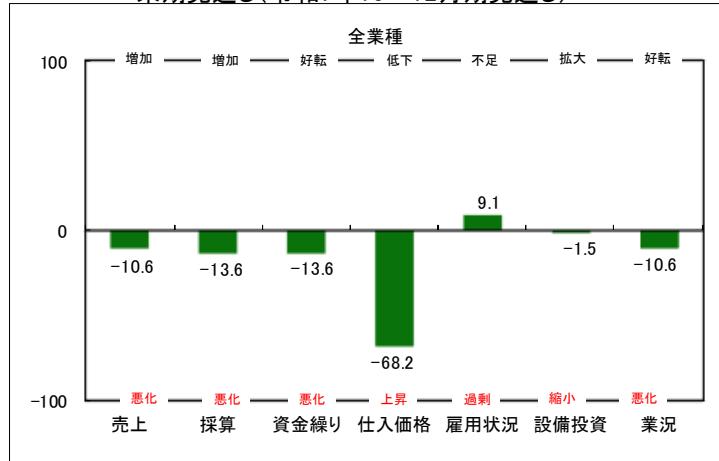
前年同期比(令和6年7～9月期比)



前期比(令和7年4～6月期比)



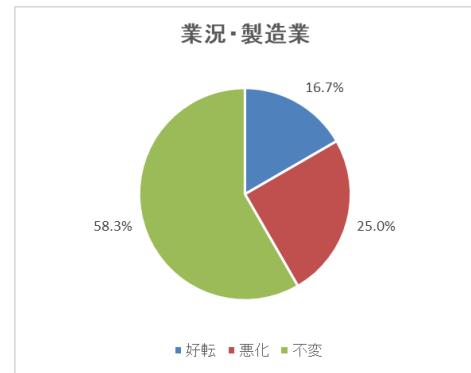
来期見通し(令和7年10～12月期見通し)



2. 業種別の概要

- ① 製造業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲8.3 ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は、16.7%、
悪化したと回答した事業所が25.0%、
変わらないと回答した事業所が58.3%だった。



来期見通しD I 値については0.0 ポイントで、
横ばいの見通しとなっている。

○主な意見

【金属製品製造業】

- 「売上的には増加しているが、メインユーザーからの依頼は減少しているため、好転しているわけではない。」

【金属工作機械製造業】

- 「売上、粗利とも前年同期より若干落ち込んでいる、民間工事は横ばいだが、公共工事の落ち込みがひどい。」

- ② 建設業の業況判断は、
前年同期比のD I 値12.5 ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は12.5%、
悪化したと回答した事業所は0.0%、
変わらないと回答した事業所は87.5%だった。



来期見通しのD I 値は、37.5 ポイントで、好転の見通しとなっている。

○主な意見

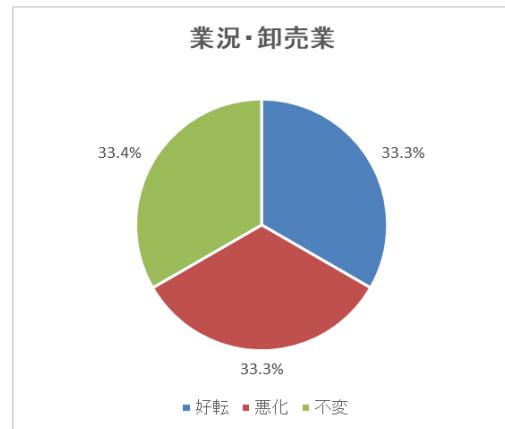
【一般土木工事業】

- 「建設業個人依頼が減ったよう、入札が少ない、修繕案件も減少、物価高、防除作業は変動していない。」

- ③ 卸売業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が0.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は33.3%、
悪化したと回答した事業所が33.3%、
変わらないと回答した事業所が33.4%だった。

来期の見通しD I 値は▲66.7ポイントで、
悪化の見通しとなっている。



○主な意見

【文房具・事務用品業】

- 「前年同期と今期も状況は似ていますが、売上が伸びなかつたので採算が悪化しました。」

【業務用食料品卸売】

- 「飲食店の取引先が閉店や規模縮小などで減少しているが、食材の価格の値上がりが続いている上りで売上を維持できている。」

- ④ 小売業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲31.8ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は9.1%、
悪化したと回答した事業所は40.9%、
変わらないと回答した事業所は50.0%だった。

来期の見通しD I 値は、▲22.7ポイントで、
悪化の見通しとなっている。



○主な意見

【農耕用品小売業】

- 「猛暑の影響で来店者数の減少がみられた。」

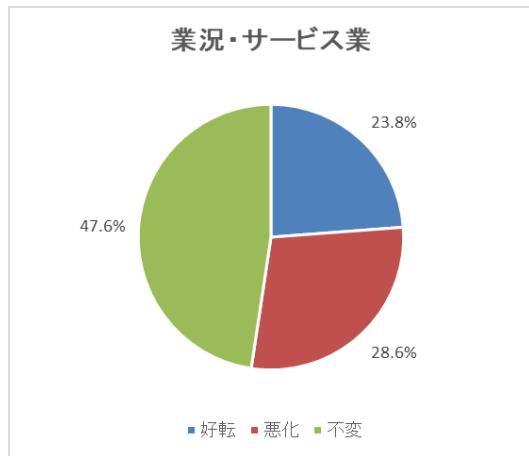
【飲食店】

- 「まだまだ原材料高騰で支払いに追われている」

⑤ サービス業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲4.8 ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は23.8%、
悪化したと回答した事業所は28.6%、
変わらないと回答した事業所は47.6%だった。

来期見通しD I 値は、▲14.3 ポイントで、
悪化の見通しとなっている。



○主な意見

【リハビリサロン業】

- ・「売上自体は1.2%ぐらいの減少だが水道光熱費の上昇が多く、また材料費等の値上げ幅とお店の値上げ幅のバランスが悪く利益が減っている。かといってあまり値上げすると安売りの全国チェーンのお店にお客様が流れそうで怖い。」

【飲食サービス業】

- ・「従業員である家族が体調をこわし営業時間等を短縮した影響で、売上が減少している」

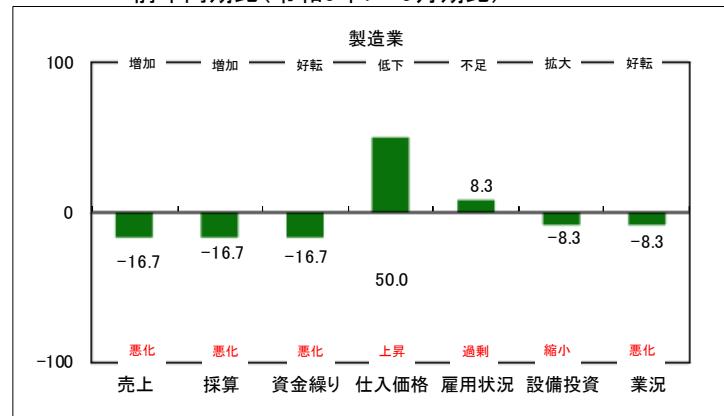
【自動車整備サービス業】

- ・「売上は大きく変わらないが、仕入金額、経費など増加傾向」

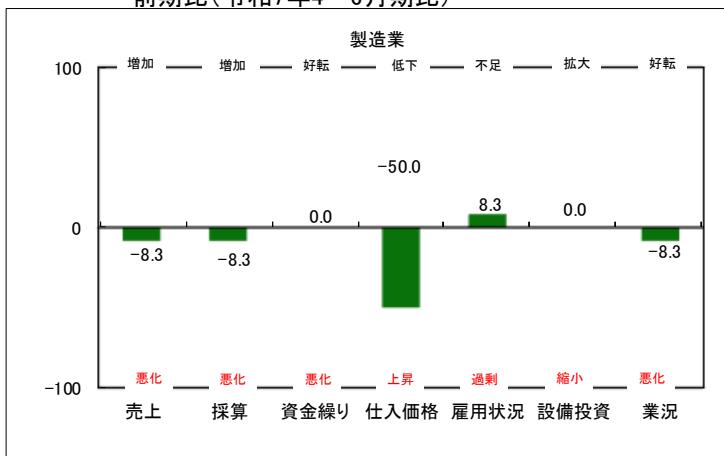
業種別景気動向

製造業

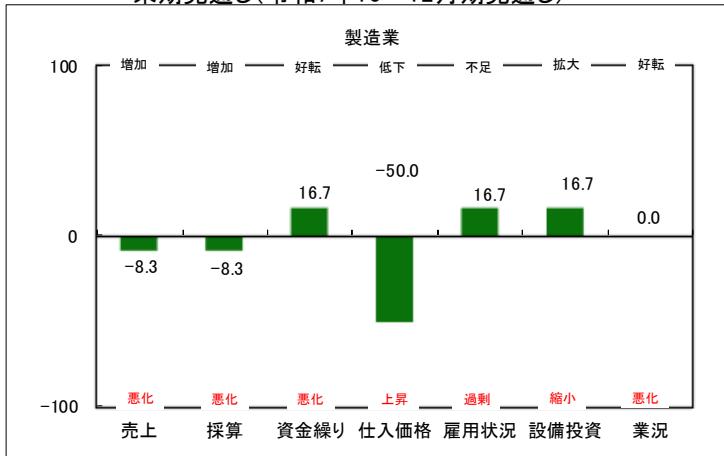
前年同期比(令和6年7～9月期比)



前期比(令和7年4～6月期比)



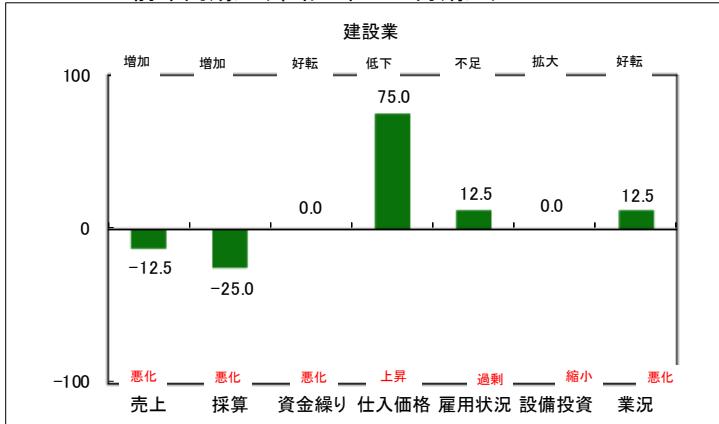
来期見通し(令和7年10～12月期見通し)



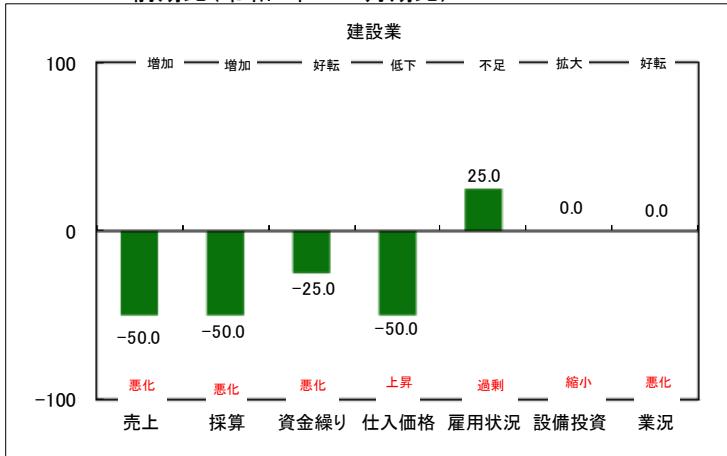
業種別景気動向

建設業

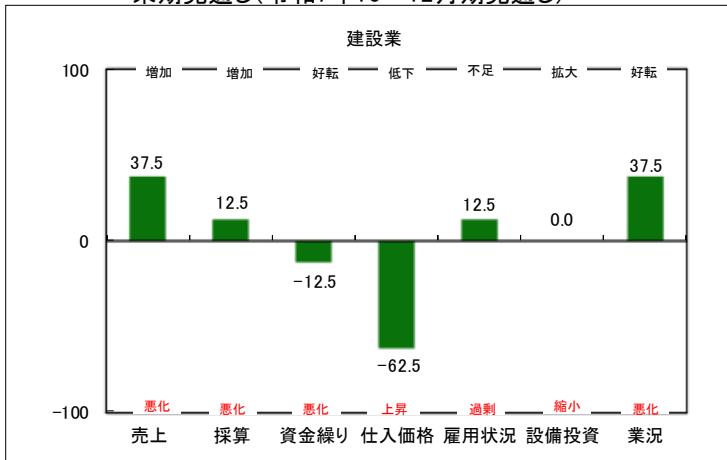
前年同期比(令和6年7~9月期比)



前期比(令和7年4~6月期比)



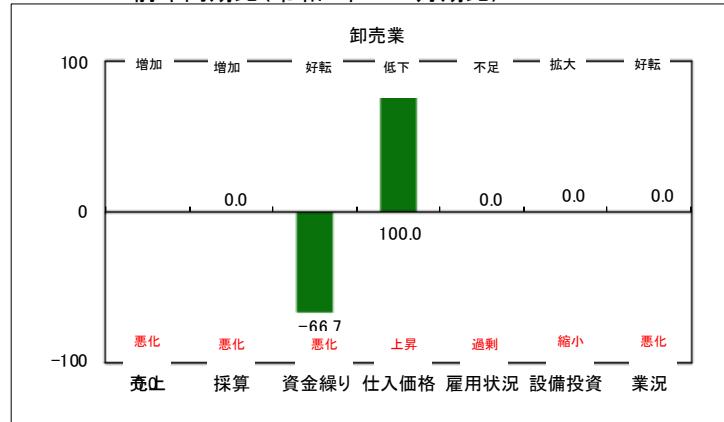
来期見通し(令和7年10~12月期見通し)



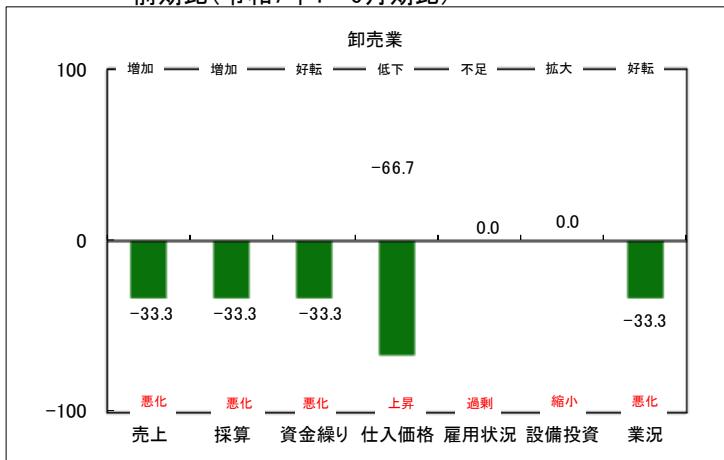
業種別景気動向

卸売業

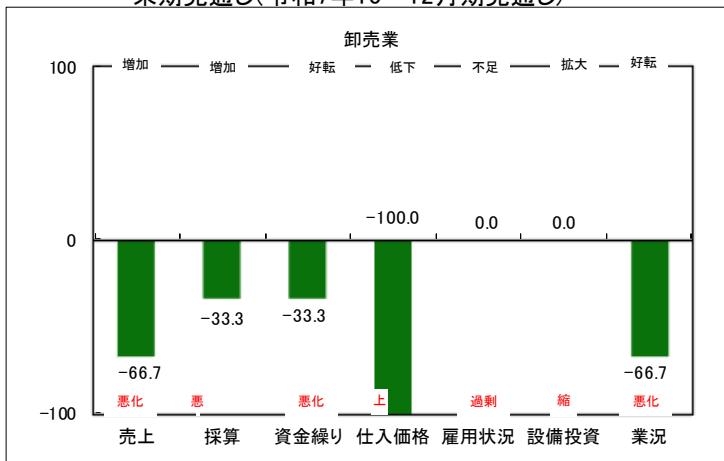
前年同期比(令和6年7~9月期比)



前期比(令和7年4~6月期比)



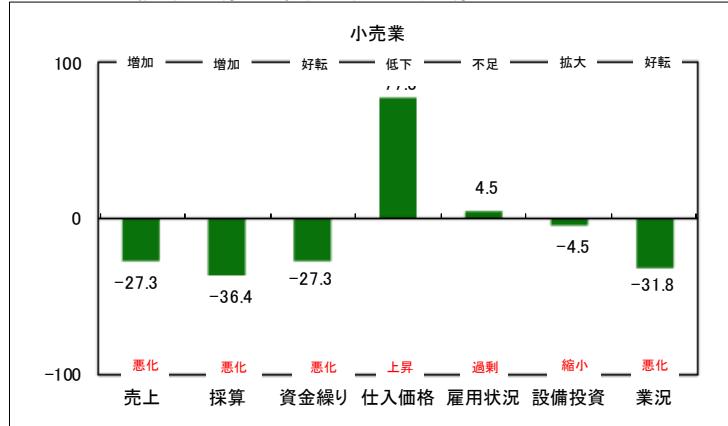
来期見通し(令和7年10~12月期見通し)



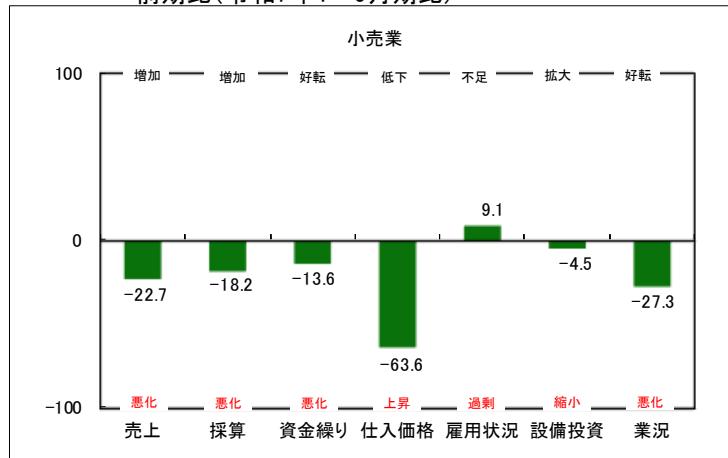
業種別景気動向

小売業

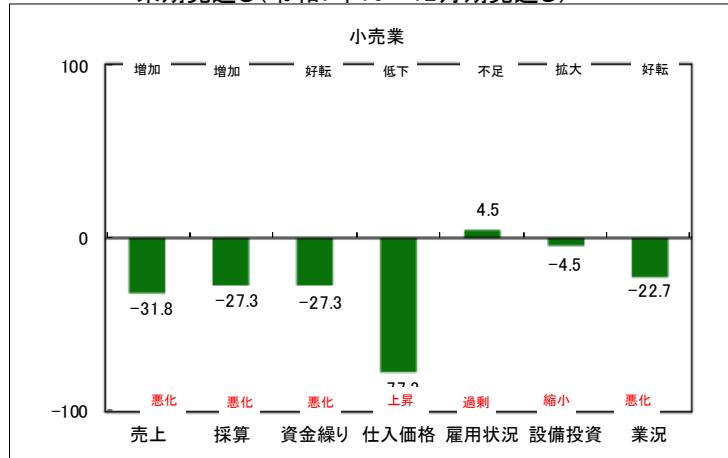
前年同期比(令和6年7～9月期比)



前期比(令和7年4～6月期比)



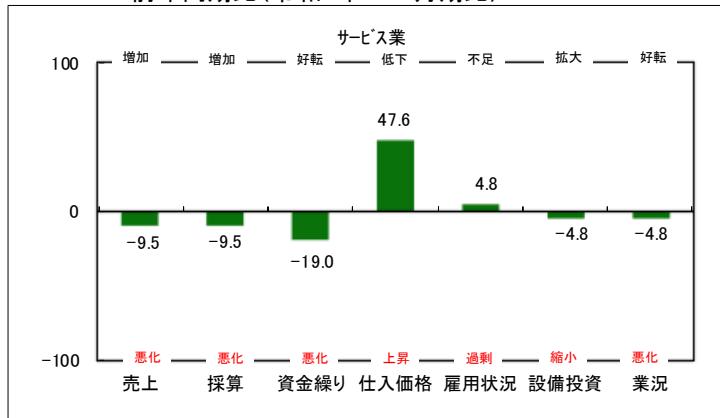
来期見通し(令和7年10～12月期見通し)



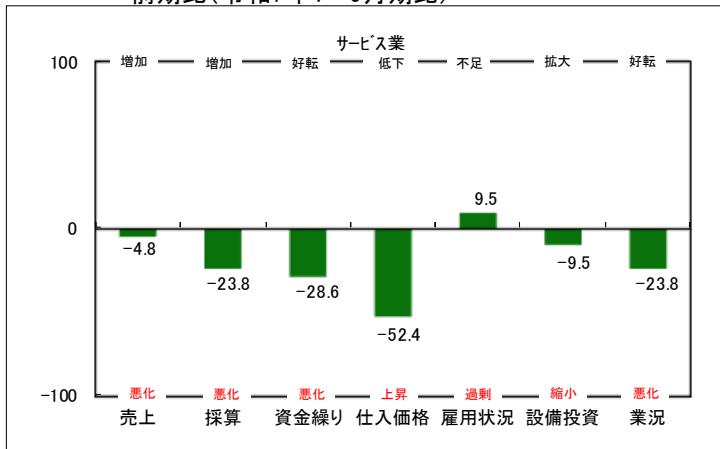
業種別景気動向

サービス業

前年同期比(令和6年7~9月期比)



前期比(令和7年4~6月期比)



来期見通し(令和7年10~12月期見通し)

